

教科名	地歴	科目	世界史演習（特進）	週授業時間	4
-----	----	----	-----------	-------	---

1. 教科書および副教材・参考書

- 教科書 : 『詳説世界史B』 (山川出版社)
 資料集 : 『最新世界史図説タペストリー』 (帝国書院)
 問題集 : 『世界史Bマスター問題集』 (山川出版社)
 問題集 : 『2023共通テスト 実力トレーニング世界史』 (啓隆社)
 参考書 : 『世界史B用語集』 (山川出版社)

2. 授業の目標および内容

世界史演習では、東洋史を中心とした通史と、問題演習を行います。世界史の複雑な国際関係を理解するためには、各国史（あるいは地域史）というタテの糸、時代史というヨコの糸、その両方を織り交ぜ、さらにそこに自分なりの染色を施すという作業が必要です。世界史を学ぶということはひとつの布を織り上げるようなもので、その「自分なりの染色」という工程こそが実は世界史を学ぶ最高の面白さでもあるのです。つまり「自分が理解した世界史」というのは「自分史」でもあるのです。授業においてもそうした点を強調しながら進めていきたいと思っています。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	
学力試験	第1回 6月		第2回 9月		

内容・難易度について

① 定期試験：100点満点で出題

問題演習を中心とした講義なので、教科書のページではかなりの広範囲になります。レベルも基礎から応用まで多岐にわたります。

② 学力試験：選択・演習で50点ずつ、計100点満点で出題

入試を意識して、基礎学力到達度テストから大学入試共通テストに準じた問題を実施します。

4. 課題・補習について

適宜、必要に応じて行います。

5. 評価の視点

定期テストの点数を基本に、平常点（提出物、小テストの結果、学力テストの結果、授業態度など）を含め、総合的に評価点を算出します。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<p>中世西洋史</p> <p>東洋史 イスラーム史</p> <p>東洋史 宋～清代までの中国史</p> <p>東洋史 近現代のアジア</p>	<p>第5章ヨーロッパ世界の形成と発展</p> <p>第4章イスラーム世界の形成と発展 ①イスラーム世界の形成 ②イスラーム世界の発展 ③インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 ④トルコ・イラン世界の展開 ⑤ムガル帝国の興隆と東南アジア交易 ⑥イスラーム文明の発展</p> <p>第6章内陸アジア世界・東アジア世界の展開 ①トルコ化とイスラーム化の進展 ②東アジア諸地域の自立化 ③モンゴルの大帝国</p> <p>第7章アジア諸地域の繁栄 ①東アジア世界の動向 ②清代の中国と隣接諸地域の発展</p> <p>第12章アジア諸地域の動揺 ①オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 ②南アジア・東南アジアの植民地化 ③東アジアの動揺</p>	<p>毎回授業の初めに10分間テストを実施する。</p> <p>2週に1回は論述対策を行う。</p>
2	<p>東洋史 近現代のアジア・アフリカ</p> <p>総合演習</p>	<p>第13章帝国主義とアジアの民族運動 ①アジア諸国の改革と民族運動</p> <p>第14章二つの世界大戦 ①アジア・アフリカの民族運動</p> <p>・テーマ史別問題演習 ・各国史別問題演習 ・正誤問題演習 ・共通テスト問題演習 ・論述問題演習</p>	<p>毎回授業の初めに10分間テストを実施する。</p> <p>週に1回は論述対策を行う。</p>